

FANCL

株式会社ファンケル

Communication on Progress

2013 年度

対象期間：2013 年 4 月～2014 年 3 月

担当者連絡先
株式会社ファンケル CSR 推進事務局 小倉 悅子
E-mail etogura@fancl.co.jp

Tel 045-226-1943 Fax 045-226-1203

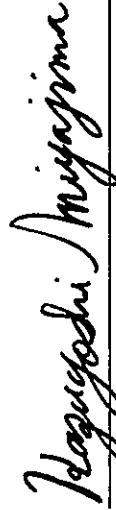
トップステイメント

(株)ファンケルは、2013年4月に国連グローバル・コンパクトに加盟いたしました。

初年度は、4月に全社に向け、グローバル・コンパクトに加盟した報告及びその意義を説明し、CSRやコンプライアンスについて、会社の方針性や業務においての考え方などを発信いたしました。そして5月には、ホームページでステークホルダーに対しても加盟報告(日本語、英語、中国語)を行い、弊社が今後グローバル・コンパクトの10原則に沿った活動をするために努力をする宣言を掲載いたしました。

実践活動として初年度は、「人権」と「生物多様性」「サプライチェーン」の社内啓発に努め、講師選定には、貴日本事務所より、優秀な講師のご紹介を受け、社内浸透を進めることができました。また貴日本事務所主催の分科会セミナーなどに参加することで、他社の活動状況を知り、加盟企業としての取り組みの基盤を知ることができました。

2014度は、CSR や10原則への更なる理解を社内に広げるために、組織別の勉強会、実現に向けたしくみ作りに努め、世界の平和と発展に貢献していく所存です。


署名

宮島 和美 (Kazuyoshi Miyajima)
代表取締役社長執行役員
(President and Representative Director)
2014年4月30日

「人権」に関する活動報告

本年度の活動内容	結果及び評価	来年度の活動目標
<p>(1) 人権セミナー実施 2013年4月12日 グローバル・コンパクト・ジャパン事務局長 名取俊英氏を講師に迎え、人権セミナーを実施</p>	<p>新入社員24名対象に実施 国連グローバル・コンパクト概要説明と 朝刊から人権問題を探すグループワーク を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入社員だけではなく一般社員に向けての人権セミナーを計画。 ・当社が推進しているダイバーシティの啓発にもつながる活動を目指したい。 	
<p>(2) 勉強会に参加 2013年12月11日 グローバル・コンパクト・ジャパン 人権教育分科会主催の 人権教育ワークショップ(講師:アムネス ティ・インターナショナル日本事務局長 若林秀樹氏)の講演会</p>	<p>CSR推進事務局メンバー2名が参加</p> <p>※2014年4月23日 新入社員32名を対象に、グローバル・ コンパクト・ジャパン事務局長 名取俊英氏 を講師に迎え、人権ワークショップを実施。</p> <p>テーマをグループワークで話し合い、 国の政治・教育・世界のファンション事情など、さまざまな観点から問題点を洗い出し、グループごとに発表。柔軟な発想で思考し、課題をまとめる訓練として有効なセミナーとなり、社内への啓発教育の参考になつた。</p> <p>(テーマ) 「バンガラデシュの縫製工場崩壊 事故はなぜ起つたのか? なぜ何千人の人々が死ななくてはならなかつたのか?」</p>	

「労働基準」に関する活動報告

本年度の活動内容	結果及び評価	来年度の活動目標
(1)経済産業省のヒヤリング対応 2013年8月1日 経産省「紛争鉱物開示規制」4.16 東洋経済第9回CSR調査で紛争鉱物についての調査依頼。	中央アフリカ・コンゴ共和国及びその隣接国でタンタル、スズ、金、タンクグスタンの4鉱物が紛争鉱物とされたことを受けて、 2013年のファンケルの使用状況を確認。 弊社は4鉱物全てにおいて使用していないことを確認し、各部署で情報共有した。	今後、ステークホルダーに向けHP上で最新情報アップすることも、必要に応じ実施していくことを検討。 ・社内啓発活動、しくみの構築。
(2)ワークライフバランスセミナー実施 2013年11月21日 (株)東レ経営研究所 宮原淳二氏による、ダイバーシティ&ワークライフバランスセミナーを実施。 (テーマ) 「なぜ残業をするのか」	人事部8名、CSR2名 計10名参加 意見を発表するワークショップを実施。身近なテーマだけに参加者の本音トークが積極的に交わされ、現実的な問題点が明確になつた。	

「環境」に関する活動報告

本年度の活動内容	結果及び評価	来年度の活動目標
(1)環境啓発教育(生物多様性)実施	<p>① 2014年1月20日 総合研究所でJBA(一般財団法人バイオインダストリー協会)4名の講師(井上歩氏、炭田精造氏、野崎恵子氏、渡辺順子氏)による生物多様性セミナー実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性条約と名古屋議定書の概要(井上歩氏、炭田精造氏) ・一般財団法人 バイオインダストリー協会活動(野崎恵子氏) ・遺伝資源を利用する際におけるべきならない事例(渡辺順子氏) <p>② 2014年3月5日 ㈱レスポンスアビリティ代表 足立直樹氏を講師に迎え、本社で生物多様性セミナーを実施</p> <p>「企業存続のもう一つの条件～生物多様性と企業の意外な関係～」</p>	<p>引き続き全従業員に向けての生物多様性の啓発活動を推進するが、より各分野の業務に関連する内容で実施することで、理解を深めたい。</p> <p>条約や議定書などの説明は、「少し難しく感じた」という声も寄せられたが、商品を製造する上でも、今後避けては通れない内容を学ぶ機会として受け入れられた。実際に商品開発の際に扱うさまざまな原料の事例を挙げながらの講義は、「業務にすぐに役立つ内容」と好評だった。</p> <p>従業員 65名参加</p> <p>様々な事例をあげながらの講義は、生物多様性が身近な業務に関連のある問題であることがわかりやすく説明され、受講者の啓発を受けた従業員を後押しするためにも、幹部社員への重視的な啓発教育が課題として見えた。</p>

③ 2014年3月24日

イオン(株)グループ環境・社会貢献部
環境＆マネジメントグループ
鎌木裕章氏を講師に迎え、
生物多様性セミナー実施

CSR、流通営業部、商品企画部、購買部
メンバーを中心に75名参加

取引先である弊社が何を求められているのかを学ぶ機会として社内で受講希望者を募ったところ、予定人数をはるかに超える希望があり関心の高さを示した。
なかなか知る機会のない他社の先進的な活動に多くの従業員が刺激を受けたセミナーとなりました。

(テーマ)
「サステナブルイオンの実現に向けて（持続可能な調達の視点から）」

「腐敗防止」に関する活動報告

本年度の活動内容	結果及び評価	来年度の活動目標
(1) 腐敗防止啓発教育(サプライチェーン)の実施 ①2013年10月4日 キヤノンマーケティングジャパン㈱ CSR活動事例セミナー参加	CSR推進事務局から3名参加 他社の施設見学も兼ねたセミナーで、先進的なCSR活動の紹介に大いに刺激を受けた有意義な研修となつた。	引き続き、業務に役立つ サプライチェーンセミナーなどを従業員に向けて継続実施していく。
②2013年10月8日 サプライチェーン分科会幹事 倉又和彦氏 (セイコーエプソン㈱)を講師に迎え、サプライチェーンセミナー実施 (テーマ) 「サプライチェーンのCSR展開活動」	購買部門 15名参加 調達が企業や社会に及ぼす影響など、内外の先進企業の事例や倉又氏の社内でのCSR業務や現状の講義は、研究から生産販売まで一貫体制の要である購買部門にとって、非常に刺激を受けた研修となつた。	

ステークホルダーへの COP 報告方法

自社の HP 内の CSR トピックで、活動内容を紹介（下記のサイト例）

<http://www.fancl.jp/csr/globalcompact/>

<http://www.fancl.jp/csr/case/1306/>

<http://www.fancl.jp/csr/case/1310/>